

「成田空港活用協議会」ビジョン

平成25年3月

目 次

I.	活用協議会の目標	
II.	実施事業	
1.	(仮称)成田空港活用協議会で取り組む事業の考え方	1
(1)	グレード・アップ「ナリタ」活用協議会の戦略1から	
	戦略3の実現	2
(2)	「コラボレーション」、「パートナーシップ」、「シェアリング」	
	による相乗効果の最大化	3
2.	協議会の事業フレーム	4
3.	事業の6本柱	5
III.	組織体制	7

I. 活用協議会の目標

(目標) 成田空港を活用して千葉県経済を活性化する

成田空港は、2010年10月には、発着容量30万回化の合意がなされ、以降、国際線・国内線の新規就航や増便、本邦系LCC2社の新規就航など、新たな動きが活発化しているとともに、2013年3月にはオープンスカイ化が予定されている。また、成田空港への鉄道・バスアクセスの利便性向上、圏央道の木更津－東金間の開通などにより、成田空港への広域アクセス整備も進展している。

こうした動きを背景に、成田空港を中心として、首都圏全体に広域的な人・物・財の流れが生まれ、新たな航空需要の創出も期待できる状況となっている。このような流れを大きなビジネスチャンスと捉え、民間事業者のこれまでにない斬新なアイデアを活かしつつ、官民が連携して、成田空港30万回化などの動きを本県経済の活性化につなげていくことが必要である。

そのため、活用協議会において、成田空港からの流れを県内により多く取り込むとともに成田空港を成長させる事業を幅広く展開する。なお、活用協議会は、5年間の活動期間の中で、集中的に事業を実施していくものとする。

成田空港発着容量30万回化の合意

〈ネットワークの充実〉

- ・ 国際線・国内線の充実
- ・ LCC就航
- ・ オープンスカイ化

〈アクセスの充実〉

- ・ 鉄道・バスアクセスの利便性向上
- ・ 圏央道の開通

(成田空港を中心とした広域的な流れの創出)
(新たな航空需要の創出)

《活用協議会の目標》

成田空港を活用して千葉県経済を活性化する

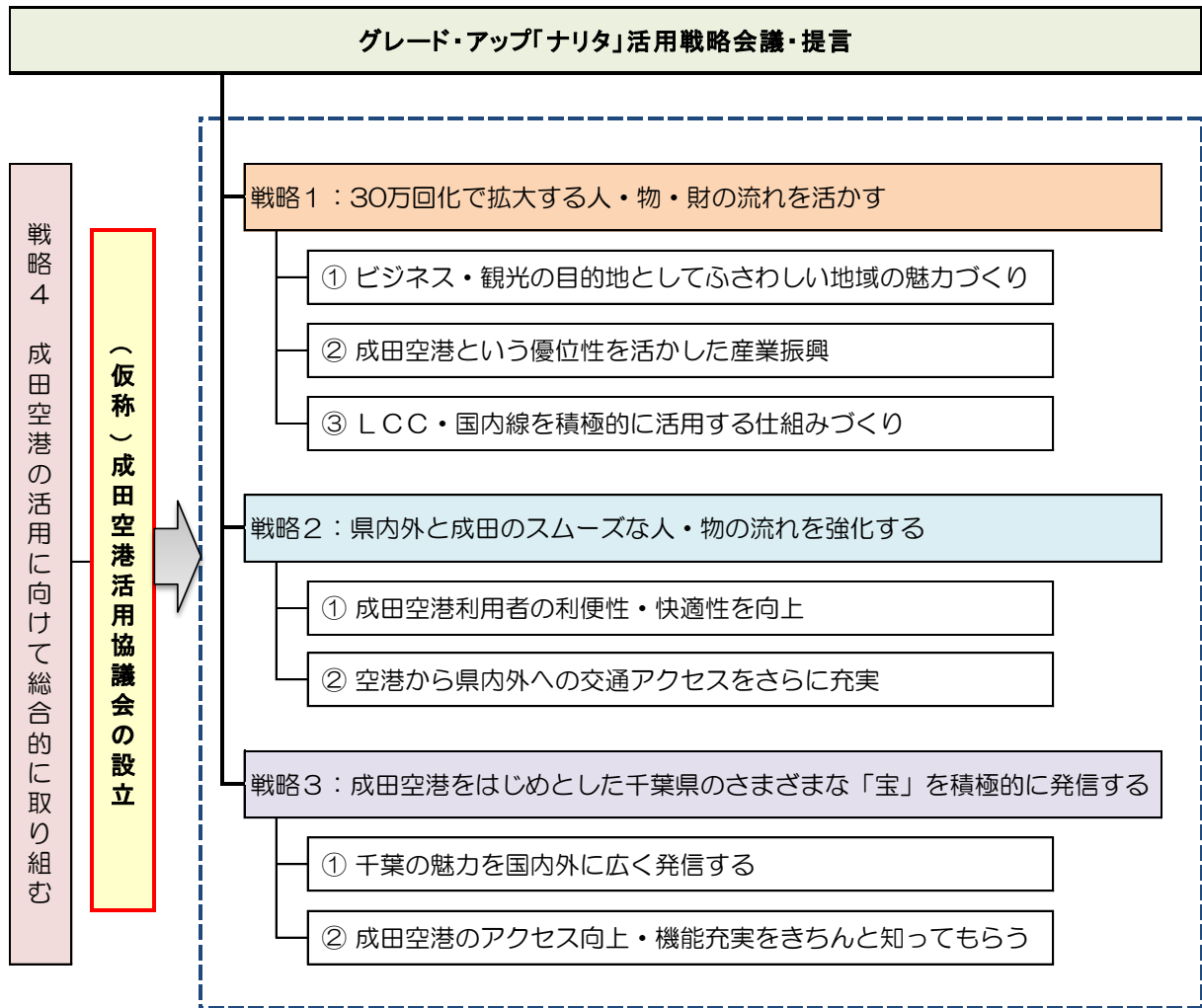
- ◇ 成田空港からの流れを県内により多く取り込む
- ◇ 成田空港を成長させる

II. 実施事業

1. (仮称) 成田空港活用協議会で取り組む事業の考え方

(1) グレード・アップ「ナリタ」活用戦略会議の戦略1から戦略3の実現

「(仮称) 成田空港活用協議会」は、グレード・アップ「ナリタ」活用戦略会議の戦略1から戦略3までの内容を効果的かつ効率的に実現していくために設立されるものであり、この戦略の方向性に合致した事業を展開する。



(2) 「コラボレーション」、「パートナーシップ」、「シェアリング」による相乗効果の最大化

(仮称) 成田空港活用協議会で取り組む事業の検討・実施に際しての基本的な考え方として、「コラボレーション (連携)」、「パートナーシップ (協力体制)」、「シェアリング (共有)」による、「オール千葉での『相乗効果の最大化』」が期待できる事業とする。

① コラボレーション (連携) <幅広い事業の連携・融合による進化>

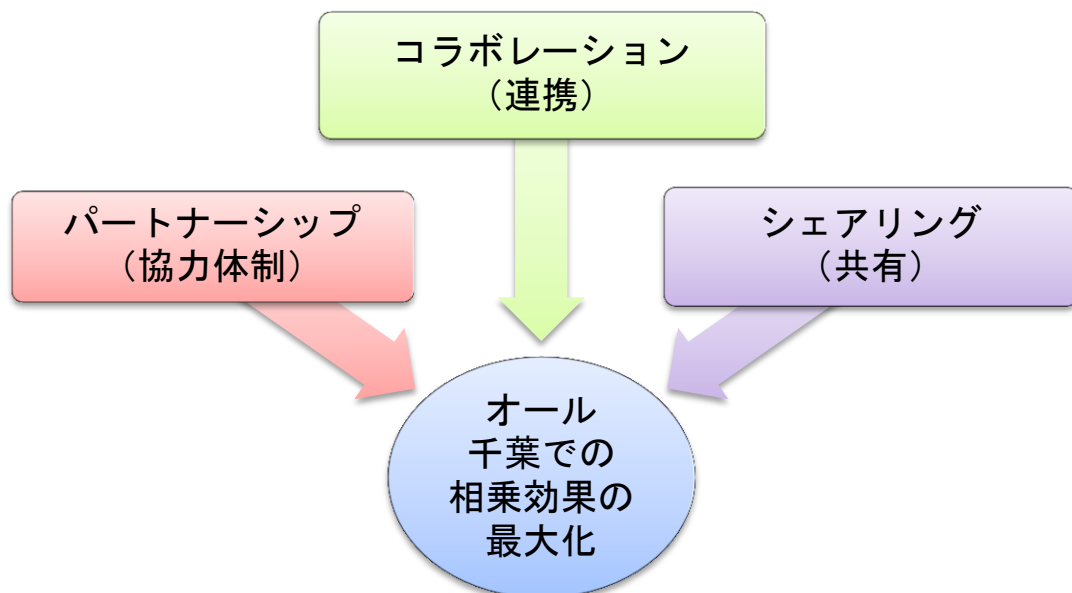
同目的の事業を異なる団体が実施している場合、連携することによってさらなる効果が期待できる。また、異なる事業を組み合わせることにより、事業の進化・発展が期待できる。

② パートナーシップ (協力) <個々の力を発揮し協力し合う>

協議会の参加者が個々の力を発揮し、かつ、協力し合うことで強固なネットワークを構築する。

③ シェアリング (共有) <理念・目標・情報を共有>

協議会の会員は、理念・目標を共有し、また、課題や成功体験 (ノウハウ) といった情報も共有していく。



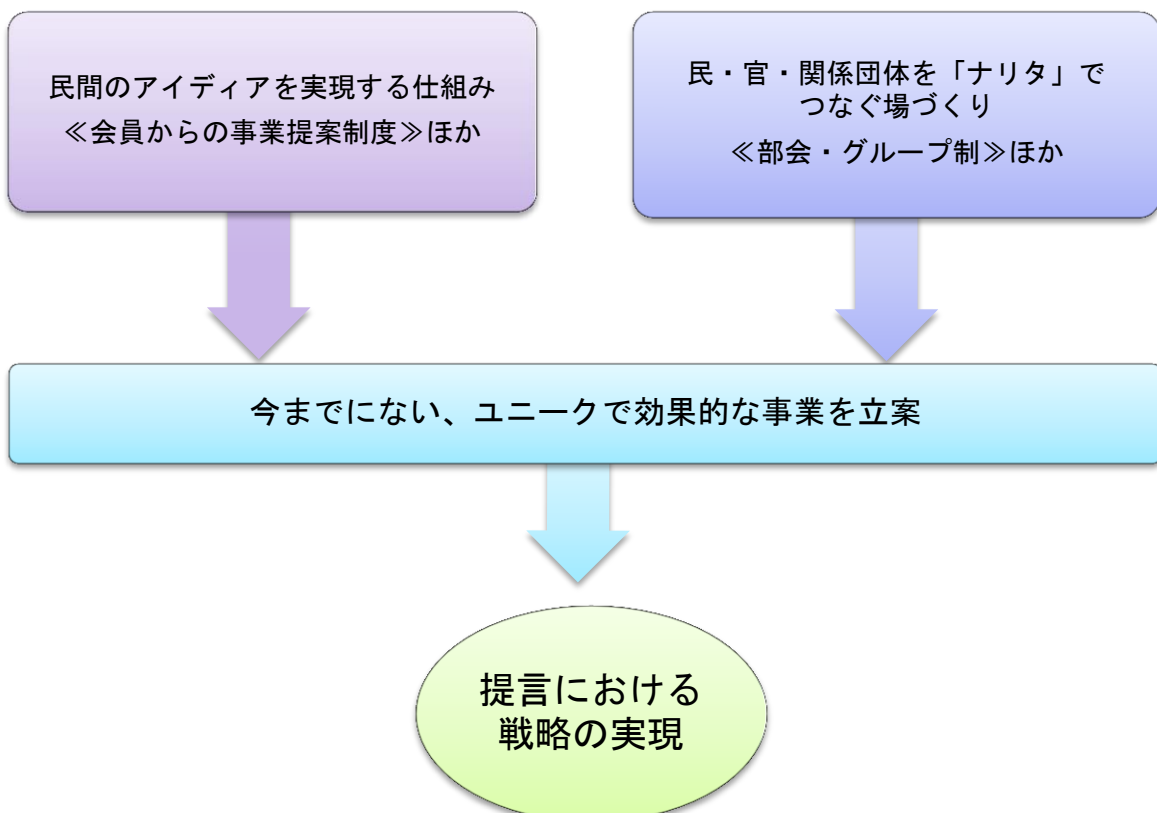
2. 協議会の事業フレーム

協議会では、県経済活性化にプラスとなる民間事業者等のアイデアを取り入れ、戦略的に実施していく。そのため、会員からの空港を活用してビジネスを拡大するアイデアや、成田空港に必要な組織を事業案としてまとめ、会員が協議会に提案・事業化する仕組みを作り出す。

また、協議会には県内から幅広い参加を求めることで、様々な知見・ノウハウが集まることが期待できる。協議会内に部会・グループを設置し、多様な参加者が、協議会という枠組みの中で、同じテーブルについて議論することにより、新たな事業のアイデア、課題の解決策などが生まれることを期待する。そのために、協議会では「民・官・関係団体を『ナリタ』でつなぐ」場づくりを行う。

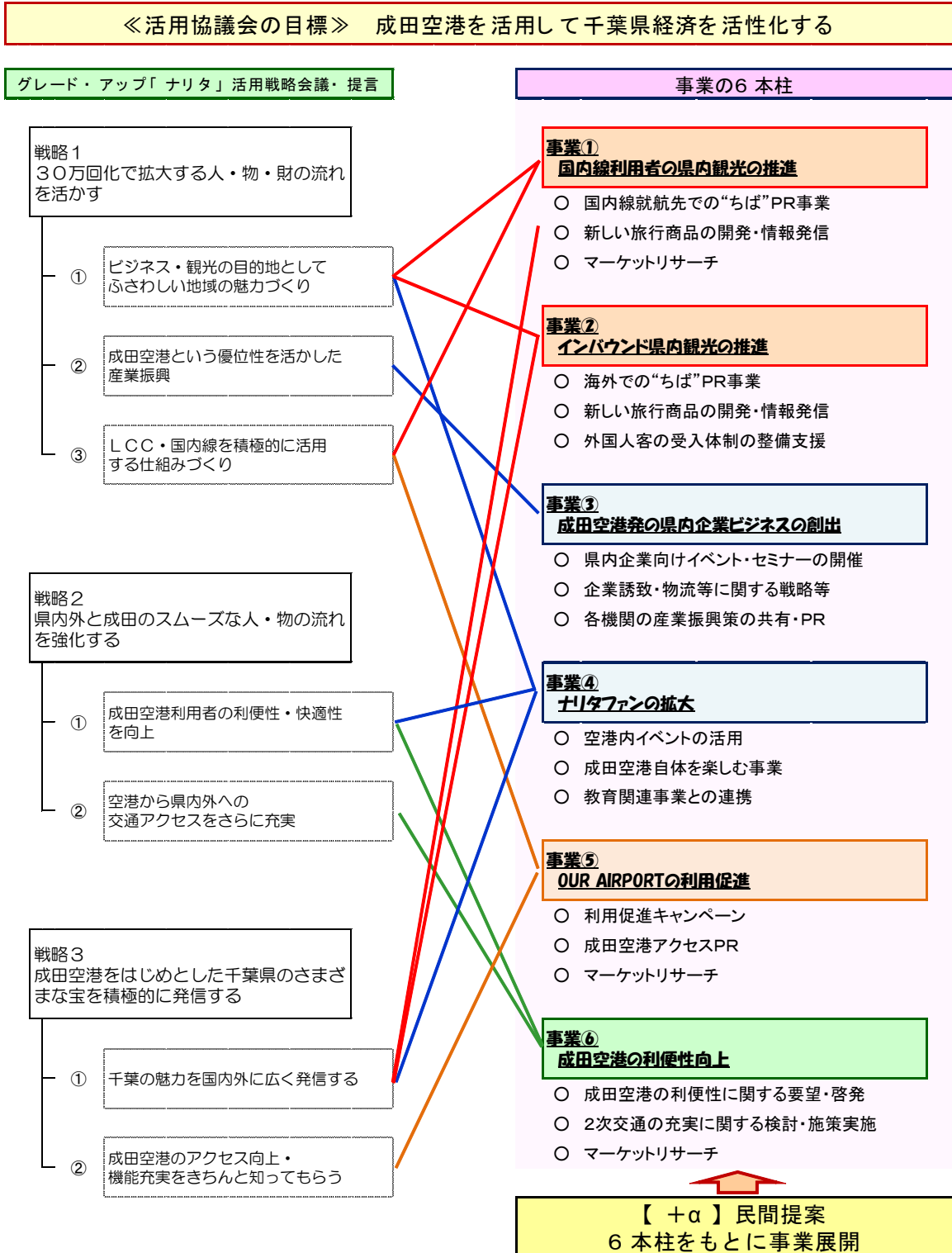
これらの新たな事業のフレームを構築することによって、今までにない、ユニークで効果的な事業を立案し、協議会で目指すこととされた提言における戦略の実現のため、必要な事業を戦略的に実施していく。

【協議会の事業フレーム】



3. 事業の6本柱

提言の実現に向け「(仮称)成田空港活用協議会」で取り組む事業として、以下の6事業を設定。

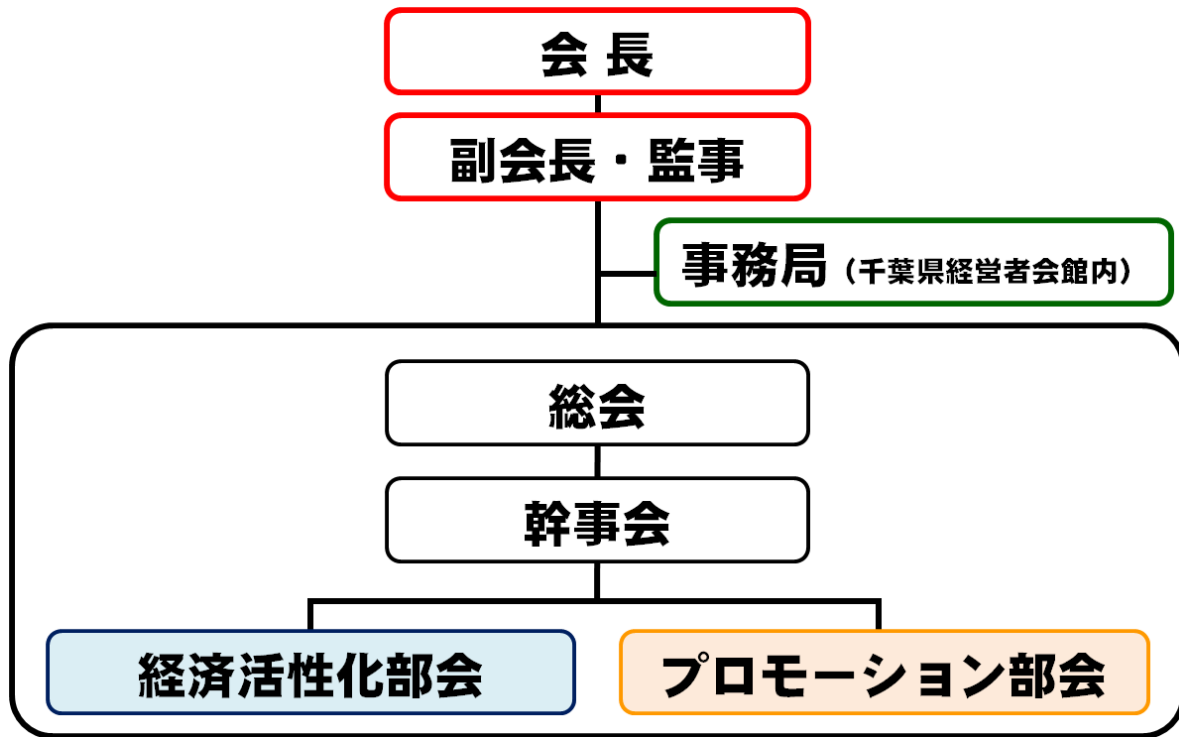


事業の6本柱に沿って、具体的な事業アイデアとして、以下のとおり事業メニュー（案）を整理。

この事業メニュー（案）から、設立総会において、平成25年度実施事業【当初案】を選定。また、活用協議会設立後、会員からの新規提案をもとに実施事業を更に追加していく予定。



III. 組織体制



※各組織の主な役割

総会：事業計画の承認

幹事会：事業計画の企画（審査・採択）

協議会事業の進捗管理

部会：事業提案の企画（検討）

会員間の意見・情報交換

事務局：総会の開催

幹事会・部会の運営

事業案の検討・とりまとめ

協議会事業の実施